

つら

TAKUSUI
No. 729

7

July.2017

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



JF兵庫漁連 田沼会長から贈られた祝鯛をもつ井戸知事

各団体の通常総会

ミサイルから漁業者を守る 緊急漁業者代表者集会!

《今月の海上安全標語》～ 季節の移ろい～

ライフジャケット (LJ) は、夏に涼しいものから、冬は温かいものまで様々。
季節に合わせて変えてみてはいかが?

LJ 季節に合わせて 衣替え では、今月も安全操業で!

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

(ようこそとは航海用語で「宜しく候の意。主に船を直進させるときの号令として使われる」)

祖父の思い出

なぎさ信用漁業協同組合連合会 常務理事 統合本部長 **濱村 規弘**



なぎさ信漁連本店におきまして、総務、財務、企画、審査部門を担当しております、濱村と申します。よろしくお願ひいたします。

水産会館4階休憩室に入ると、左手に明石海峡大橋、正面には淡路島を一望でき、特に晴れた日の眺めは最高です。

その景色を見るたびに、在りし日の祖父との思い出が頭に浮かびます。

私の祖父は、淡路島の旧津名郡津名町佐野(現淡路市佐野)出身で、実家はシラス船曳網漁を営んでいたようですが、三男坊で他家に養子へ、養家に馴染めず家を飛び出し、小学校にも疎に行かず(勉強嫌いが原因のように思います)、その結果、殆ど読み書きができませんでした。

祖父が漁師を職業としたのは、実家の関係からと想像できますが、なぜ和歌山の、それも紀伊半島の南端を越えてまで、何ら馴染みのない土地へ来たのか、そのあたりの経緯はわかりません。直接聞いているのは、若い頃から色んな漁種の船に乗り、朝鮮半島まで行っていたこと、船が転覆し何日間か漂流し外国の船に救助されたこと位です。

祖母によれば、結婚後祖父が42歳の厄年を迎えるまで、家にお金を一切入れなかつたようで、稼いだ金は船員との懇親会?代にすべて使つたらしい(ある意味羨ましい)ですが、家へは水揚時の自分の取り分の一部を船主から米や食料品で支給してもらつて持ち帰っていたようです。まあ、手ぶらで帰る勇氣はないでしょうね。

私が物心ついた頃は、3級船で一本釣りに従事していました。孫のために売らずに持ち帰つた魚を、私が食べ散らかすのを叱る母親に、すきなように食べさせと云っていたのを憶えています。おかげで、煮魚、焼き魚をきれいに食べることが、未だ出来ません。

酒は世界一統(南方熊楠の実家が蔵元)、タバコはエコー、歯は前歯三本だけ、すりおろしリンゴが好き、徴兵検査甲種合格(本人談)、銭湯で頭を洗つてもらふのが嫌なほど、ごっつい手でした。

私が毎日淡路島を見ながら仕事をしているのを、祖父はどう思うでしょうか。出来るなら、一度聞いてみたいのです。

CONTENTS

No.729 July. 2017

- 2 ようこそ
- 3 兵庫県JF共済推進本部通常総会
JFなぎさ信漁連通常総会
JF兵庫漁連臨時総会開催
JFぎよさい兵庫通常総会開催
- 4 JF共済全国推進・表彰大会
漁船保険事務研修会
- 5 一般社団法人播磨漁友会通常総会
兵庫県漁協女性部連合会通常総会
- 6 播磨地区漁協女性部連合会通常総会・研修会
但馬地区漁協女性部連合会通常総会・研修会
- 7 さかなのまち明石“魅力発信”研修
兵庫県漁民物故者合同供養祭開催
- 8 「漁業者の安全」国に訴え～北朝鮮ミサイル問題～
さかな検定開催 135人が挑戦
- 9 「浜の担い手漁船リース事業」新造船 祝!竣工
県立水産技術センター見学会・研究発表会のご案内
- 10 JF共済 新 暮らし登場
- 12 JF淡路島岩屋 安全講習会開催
神戸海上保安部からのお知らせ
- 13 兵庫JCC通信
- 14 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

6月6日の田沼会長による推薦状手渡し

任期満了に伴う兵庫県知事選挙にて水産系統団体が推薦していた井戸敏三氏が、兵庫県政最多となる5選を果たされ、漁業者を代表してJF兵庫漁連 田沼政男会長が祝鯛を贈りました。

推薦状手渡し時には「たくさんの皆様の推薦をいただき感謝します。参画と協働の原点に立ち返って、皆様の夢や願いをもとに兵庫の漁業の未来を切り開いていきます」との決意を述べられておられました。

更なる兵庫県の漁業発展を期します。

平成29年度 兵庫県JF共済推進本部通常総会開催

6月16日(金) 神戸市内のホテルにおいて兵庫県JF共済推進本部の平成29年度通常総会が開催されました。

開会に先立ち、戎本 裕明本部長が挨拶を行い、「厳しい漁業情勢の中、1年間推進活動にご尽力賜りました漁協役員の皆様に深く感謝します」と述べた後、「平成28年度は3か年計画の最終年度として、主幹共済であるチヨコーの保有契約の減少に歯止めをかけることを第一義に位置付けて精力的に漁協と連携しながら推進活動を行ってまいりました。又、風害事故が多発しましたが、共済金の早期支払いを旨指して事務処理にあたってきました」と情勢報告を行いました。

引き続き、来賓として高木 英男水産課長、共水連本所 松井 明専務、共栄火災神戸支店 山口 達彦支店長が順次祝辞を述べた後、戎本本部長が議長となつて提出議案の審議に入りました。

「第1号議案 平成28年度活動報告について」、「第2号議案 平成29年度活動計画について」の2議案が審議され、原案どおり全会一致で可決されました。又、報告事項として、運営委員1名の補欠選任について磯田 政志所長が説明し、議案審議は全て終了しました。

最後に、東 根 壽副本部長が「漁業者をJF共済で守ることを念頭において、更なる普及推進のために運営委員が一丸となつて努力いたします」と挨拶を述べて総会を閉会しました。



平成29年度 JFなぎさ信漁連通常総会開催

6月26日(月) 明石市内のホテルで平成29年度通常総会を開催しました。

榎本 秀春会長の挨拶の後、JF育波浦 小溝 政三組合長を議長に選出し、議事が進められました。平成28年度の事業報告では、兵庫、和歌山両県での浜の暮らしを守る信頼の金融の実現を目指した取り組みが報告されました。事業計

画については、4月1日に新しく誕生した、なぎさ信漁連として「愛される浜の金融機関を目指して」を目標とする3か年の中期経営計画を策定し、平成29年度は、なぎさ信漁連の運営方法、事務、業務展開等について、なぎさ信漁連のスタンダードを作り上げる期間として取り組みことといたしました。

平成29年度 JF兵庫漁連臨時総会開催

平成29年6月16日(金) 神戸市内のホテルで兵庫県漁業協同組合連合会臨時総会が開催され、JF組合長、系統団体のほか、兵庫県藤沢 農政環境部長をはじめとする県の関係者をあわ

せて約70名が出席しました。役員候補の補欠選任議案について上程し、議案審議の結果JF神戸市福田 一義組合長が新理事に就任しました。

平成29年度 JFぎよさい兵庫通常総会開催

6月16日(金) 神戸市内のホテルで平成29年度通常総会が開催されました。

川越 一男組合長は挨拶で「漁業共済事業、地域共済事業とも前年を上回る実績であった。収支は事業部門、管理部門ともに黒字となり剰余金も計上できた。今後も『ぎよさい』と『積立ぶらす』の一層の定着に努めていく」とされました。この後、平成28年度の事業報告をはじめ、平成29年度事業計画などが上程されました。29年度事業計画は、ぎよさい普及推進全国運動を展開し、「ぎよさい」と「積立ぶらす」の一

層の浸透、定着に取り組むものとし、①ぎよさい普及推進全国運動に呼応した取組②中央・地方一体的推進活動の展開③系統各団体・行政庁との連携④広報活動の活発発展⑤漁業共済掛け金助成事業の活用⑥研修活動の充実強化と組織活性化⑦漁業者サービスの充実等とし、本年度加入目標金額を漁獲共済128億5,553万円、養殖共済6億189万円、特定養殖共済118億2,560万円、地域共済6億1,696万円、積立ぶらすの漁業者積立額を7億300万円としました。

平成29年度 JF共済全国推進・表彰大会

6月29日(木) 東京港区台場のホテルにて平成29年度JF共済全国推進・表彰大会が開催され、全国より119の組合代表者、水産庁、系統団体、各関係団体が来賓として出席しました。

表彰に先立ちJF共済水産川端勲会長より挨拶があり「本日、表彰の榮譽に輝く皆さまに対し、心からお祝いを申し上げますとともに、全国の浦浜で活躍いただいていること、深甚なる敬意を表する次第であります。

JF共済は平成29年度を初年度とする、「一人ひとりの笑顔のために：共同の原点 JF共済3か年計画」がスタートしました。事業量目標につきましては、前3か年に引き続き、保有契約量の減少に歯止めをかけることをめざし設定いたしました。なんとでも達成しなければならぬ、と考えております。皆様方には、ご理解のうえ、特段のご高配を賜りますよう、お願いを申し上げます。」と述べました。

次に来賓として水産庁 矢花



渉史課長、JF全漁連 岸宏会長、(公財) 漁船海難遺児育英会 鈴木俊一理事長がそれぞれ祝辞を述べられました。

表彰は、全国の優績組合が該当部門ごとに読み上げられ、兵庫県からはJF明石浦、JF家島、JF相生、JF浜坂が受賞しました。

その後、庵治漁協嶋野勝路組合長による大会決議、農林水産省前事務次官 本川一善氏による「水産をめぐる事情について」の講演があり、盛会のうちに閉会しました。

平成29年度 漁船保険事務研修会 開催

新組織となった日本漁船保険組合兵庫県内海支所では、平成29年度漁船保険事務研修会を7月4日(火) 神戸市内のホテルで開催し、管内35漁業協同組合の組合長、担当役職員をはじめ、県市町担当係官、系統団体代表者等約130余名が参加しました。初めに、井上仁支所運営委員長、三宅哲夫日本漁船保険組合会長による主催者挨拶、兵庫県水産課 高木 英男課長、JF兵庫漁連 田沼 政男会長の来賓挨拶に続いて、賞状授与伝達式が行われ、無事故漁船所有者の部で赤穂市 漁協坂越支所所属「第二大漁丸」への水産庁長官表彰をはじめ日本漁船保険組合会長(漁船保険中央会会長) 表彰として部門毎の表彰が行われました。

引き続き、平成28年度の事業概況報告並びに平成29年度事業計画について事務局から説明がありました。

また、今回の研修会では、独立行政法人海技大学校 遠藤 小百合航海科教授から「動力船に対する漁船員の気持ちと行動について」講演があり、参加者は終始熱心に聴講されました。

で、今後海難事故の未然防止に大いに役立つ内容でありました。

最後に小溝 政二支所運営委員長が閉会の挨拶を行い、新組織での第一回目の事務研修会が盛会の内に終了いたしました。



研修会場の様子

一般社団法人 播磨漁友会が 通常総会を開催

6月28日(水)、姫路市内のホテルにおいて一般社団法人播磨漁友会(井上仁会長・JF岩見)の第42回通常総会が開催され、16会員の代表者や、行政機関、系統団体からの来賓出席者ら30名が出席しました。

開会あたり井上会長が挨拶し、兵庫県農政環境部農林水産局水産課 高木英男課長、JF兵庫漁連 田沼政男会長が来賓を代表し祝辞を述べました。

総会は井上会長が議長を努め、平成28年度事業報告、漁船遭難者等救済事業実施規程などの4議案が原案通り可決承認されました。



平成29年度 兵庫県漁協女性部連合会通常総会



6月28日(水)、神戸市水産会館にて、24会員(うち7委任状)51名と兵庫県農政環境部農林水産局水産課 高木英男課長、JF兵庫漁連 田沼政男会長はじめ来賓13名の出席のもと、平成29年度兵庫県漁協女性部連合会通常総会が開催されました。

総会は、森武美会長の挨拶、高木課長、田沼会長はじめ来賓紹介に続いて、議事に入りました。平成28年度事業報告及び収支決算、同29年度事業計画及び収支予算、役員任期満了に伴い新役員が承認され滞りなく終了しました。なお、新役員は次のとおりです。

- 会 長…森 武美 (JF福良・再任)
- 副会長…井上二三枝 (JF神戸市・再任)・井上 千鶴 (JF岩見・再任)
- 川越しのぶ (JF浜坂)
- 理 事…糸谷 敏子 (JF兵庫・再任)・青柳久美子 (JF林崎)
- 松帆 悦子 (JF淡路島岩屋・再任)・石橋 有子 (JF但馬津居山)
- 監 事…山田千賀子 (JF神戸市・再任)・高谷 洋子 (JF伊保)
- 山中 悦子 (JF但馬 香住)・中川 智子 (JF津名塩田)

(敬称略)

平成29年度 播磨地区漁協女性部連合会通常総会・研修会



播磨地区漁協女性部連合会は、6月21日(水)、兵庫県立水産技術センターにて、9会員のうち、9会員(うち2委任状)50名と(一社)播磨漁友会井上会長はじめ来賓14名の出席のもと平成29年度通常総会を開催しました。

総会は、井上千鶴会長の挨拶、井上仁漁友会会長はじめ来賓紹介に続いて、議事に入りました。平成28年度事業報告、収支決算、同29年度事業計画・収支予算、役員任期満了に伴い新役員が承認され滞りなく終了しました。なお、新役員は次のとおりです。



会長：井上 千鶴 (JF岩見・再任)
 副会長：青柳久美子 (JF林崎)・高谷 洋子 (JF伊保)
 理事：西尾ひろみ (JF東二見)・草部 俊美 (JF播磨町)・山田奈保美 (JF室津)
 監事：鳥居加奈子 (JF明石浦)・森 隆代 (JF坊勢) (敬称略)

総会終了後、(有)みかん山プロダクション 辻イト子氏を講師に迎え、「大阪のおばちゃんから、元気の出前」をテーマに、知的障害を抱える長女を育てる際の苦労や、自らのオーデイションでの体験などについて講演いただきました。

また、講演後は辻まる氏も迎えて夫婦漫才を披露され、会場は終始笑いに包まれていました。



平成29年度 但馬地区漁協 女性部連合会通常総会・研修会

6月16日(金) JF浜坂 本所にて、但馬地区漁協女性部連合会通常総会が会員39名と但馬水産事務所 小田垣 寧水産課長、JF浜坂 宮階 弘志参事、JFなぎさ信漁連 黒田 俊文理事はじめ来賓4名の出席のもと開催されました。

平成28年度事業報告、収支決算並びに平成29年度事業計画、収支予算の各議案が承認されたのち、任期満了に伴う役員改選が行われ、川越しのぶ会長(JF浜坂)をはじめ7名の役員が選任されました。なお、8名の新役員は次のとおりです。

- 会長：川越しのぶ (JF浜坂)
 副会長：石橋 有子 (JF但馬津居山) 山中 悦子 (JF但馬香住)
 理事：三木 政枝 (JF但馬津居山) 小林美千代 (JF但馬柴山) 塩谷ますみ (JF但馬柴山)
 監事：吉田 厚子 (JF但馬香住) 日浦 和恵 (JF浜坂)

総会終了後の研修会では、山陰海岸ジオパーク推進協議会専門員「郡山鈴夏」氏を講師に迎え「山陰海岸ジオパークって何？」をテーマに山陰海岸ジオパークについての地形や歴史、ユネスコ認定までの道のりについて分かり易く講義して頂きました。

山陰海岸ジオパークとは、すべての景色に理由があり、そこに生息する動植物がいて人間の文化や歴史が育まれ、それらのつながりを感じることができる場所がジオパークであることを学びました。



平成29年度

さかなのまち明石 魅力発信 研修

6月22日(木) 明石市の採用2年目の職員を対象とした研修会が行われました。

この研修会は明石の食材を生かしたレシピを自分たちで考え調理することで、明石への理解や愛着を深め、また外部に発信する力を養うことを目的として昨年に始まり、市の人材開発課が中心となり明石市漁連の協力のもとに実施されました。

1回目にあたる昨年の研修会では明石の漁業や地域について学び、実際に明石の特産品である『明石鯛』の基本的なさばき方講座をSEATTLE CLUBで受講しました。

第2回目にあたる本年度は昨年度の経験を生かし、『明石鯛』を使った、鯛の身入りのギョーザや、タコ焼きならぬ鯛焼きなどの工夫を凝らしたオリジナルレシピを考案し、プレゼンテーションした後、実際に調理を行いました。



調理中の様子



受賞されたグループの皆さん

鯛のさばき方に戸惑う参加者もいましたが、考案したレシピに少しでも近づけようと表情が真剣そのものでした。

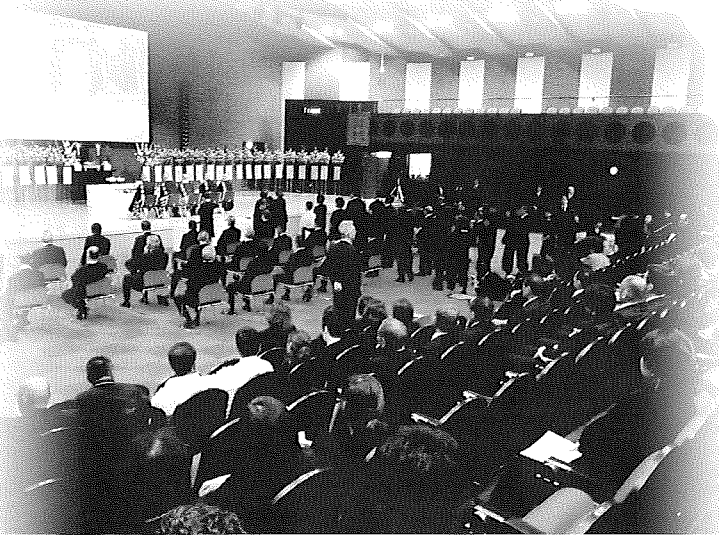
最後に明石市漁連の橋本 幹也会長(ＪＦ江井ヶ島代表理事組合長)をはじめめとする審査員3名の方々より最優秀賞・審査員特別賞・努力賞が送られ、クッキングアドバイザーの川越 淳子氏より講評として、「この経験をいかして料理を好きになり、もっと地元の魚・食材にふれてほしい」とのお言葉をいただきました。このような企画を通して若い世代が漁業をより身近に感じ、魚食文化が継承され兵庫の水産がさらに盛り上がりが行く事を願うばかりです。

第42回

兵庫県漁民物故者合同供養祭開催

今年で42回目となる 兵庫県漁民物故者合同供養祭(主催…ＪＦ兵庫漁連)が、6月11日(日)和歌山県の高野山大学松下講堂並びに慰霊塔前において厳かに執り行われました。

会場には県内漁業関係者ら208名が参列し、開会にあたり遺族代表の福田 一義様(ＪＦ神戸市組合長)と野村 圭子様(ＪＦ室津)の手で、平成28年度中に物故された131柱の芳名簿が祭壇に奉納されました。主催者代表として挨拶に立ったＪＦ兵庫漁連 田沼政男会長は「本県が全国有数の水産県として今日あるのは、ここに合祀されておられますご尊霊のご努力の賜物であり、在りし日の輝かしき業績に対し深く敬意を表します。残る我々は力を合わせて豊かな漁場を取り戻し、次世代に引き継ぐことを誓います。」と話され、続いて来賓を代表して兵庫県知事(県農林水産局寺尾俊弘局長 代読)、ＪＦ全漁連会長(ＪＦ全漁連 古関 和則専務理事 代読)から追悼の言葉をいただきました。その



後、読経の流れるなか、主催者、ご遺族、来賓、一般参列者の順に焼香が行われ、ＪＦ兵庫女性連 森 武美会長から全参列者に御礼が述べられ、供養祭は厳粛のうちに滞りなく終了しました。これまで合祀されたご尊霊は今回の131柱を含めて12、376柱となりました。心からご冥福をお祈りいたします。(文…ＪＦ兵庫漁連指導部)

「漁業者の安全」国に訴え ～北朝鮮ミサイル問題～

JF全漁連（岸宏会長）は、6月22日、2017年度通常総会後に、東京・内神田のコープビルで、「北朝鮮ミサイル発射の暴挙からわが国漁業者を守る緊急漁業者代表者集会」を開催し、JF浜坂川越一男組合長が「先人が開拓した漁場にミサイルを撃ち込むことに怒り心頭。漁業者にもしものことがあれば取り返しがつかない。」と訴えました。

意見表明を踏まえ、①我が国の漁業者の安全を確保するため、あらゆる手段を用いて暴挙を阻止すること ②漁業者に対するミサイル発射にかかる情報の迅速な連絡体制を構築すること ③万が一、人命及び漁船に被害が及んだ場合には、国家による救済策を講じることの3点の漁業者の安全確保を国に求める決議を満場一致で採択しました。

集会後、岸会長、川越組合長らは菅義偉官房長官、二階俊博自民党幹事長、山本有二農林水産大臣らを訪問し、「北朝鮮ミサイル発射の暴挙から我が国の漁業者を守る要望書」を手渡し、国によるミサイル発射阻止などへの対応を強く求めました。



さかな検定開催 135人が挑戦 ～県内で初めて香美町が会場に～



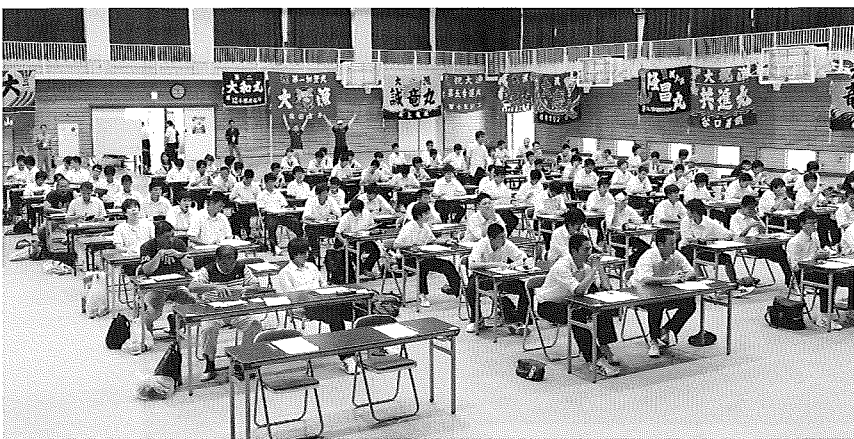
サザエ釣り

全国各地の豊かな食文化や魚の知識、美味しい食べ方など魚介類に関する幅広い知識を問う「第8回日本さかな検定」が6月25日（日）に香美町香住区の香住高校で行われ、香住高校生、県内各地や近隣県など12歳から88歳の135人が一般的な知識やご当地問題100問に挑戦しました。

この検定は、魚食普及などを目指す「日本さかな検定協会」（東京）が毎年1回、1～3級の3段階で開催しており、今年是全国の9会場で同時刻に開催され約2,800人が受験し、香美町で魚食普及を推進する「香美町と

活隊」が中心となり、地元水産物のPR・魚食普及につなげようと誘致を働きかけ、兵庫県では初めて開催されました。

同会場では、香美町と活隊が「第6回ととフェス」を開催し、サメやアナゴなどを放したタッチングプールでの魚とのふれあいやサザエ釣り、高校生が作成した缶詰や焼き魚の盛り合わせの販売も行われ会場を盛り上げました。



さかな検定会場

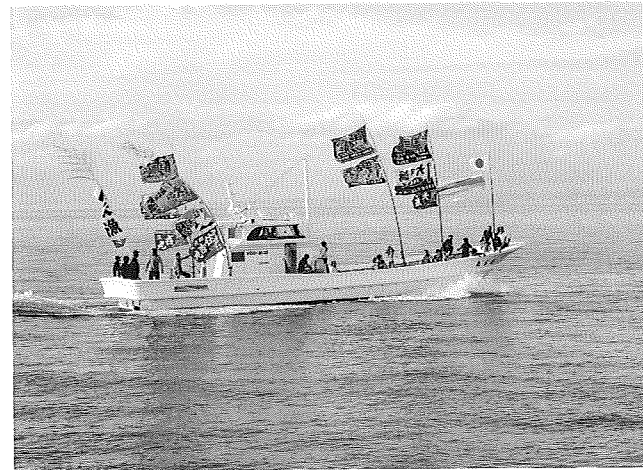
「浜の担い手漁船リース事業」

新造船祝！竣工

6月30日（金）、育波浦漁港において、船曳網漁業の手船（漁獲物運搬船）「住吉丸」の竣工式が開催されました。この漁船は「浜の担い手漁船リース事業」を活用し、（一社）兵庫県漁船リース協会が建造した記念すべき第一号艇です。県内では既に中古船や船体のみ新造した漁船がリースされていますが、主要な部分ほぼ全てを新造した漁船は今回が初めてとなります。

当日、リース漁船「住吉丸」は、鉄工所で飾り付けられた後、そのスマートな船体に大漁旗をなびかせながら育波浦漁港に入港。直前まで、梅雨の雨模様であったにもかかわらず、入港とともに雲間から太陽がのぞく好天に恵まれる中、関係者の出迎えを受けました。

神事後、餅まきもあり、地元の小学生をはじめ多くの方々が新造船の竣工を祝うため荷捌き所に集まりました。JF育波浦によると新造船は3年ぶりとのこと、浜



は久しぶりに多くの笑顔で溢れました。

今後、当該漁船は、更に鉄工所で漁労機器や航海機器が艤装され、JF育波浦で船曳網漁業を営む柿本吉弘さんにリースされます。7月中には播磨灘にデビューすることになるとのことです。

柿本さんは「大変立派な船ができた。国の補助に心から感謝する。未永く大切に使っていきたい」と語られました。



新造船の主要目

船名	住吉丸
全長・全幅・深さ	17.00m×3.66m×1.11m
トン数	9.1トン
推進機関	いすゞ製ディーゼルエンジン 471kw
最高速力	30ノット
造船所	(有)峯造船（長崎県南松浦郡新上五島町）
艤装・販売	(株)JPSマリン（兵庫県淡路市）

県立水産技術センター見学会・研究発表会のご案内

兵庫県立水産技術センター（明石市二見町南二見22-2）では、8月8日（火）に下記のとおり見学会及び研究発表会を開催します。多数のご来場をお待ちしています。

【見学会】9:30~12:00

水産の勉強と施設見学、プランクトン観察、魚拓づくり、煮干しの解剖を実施します。

【研究発表会】14:00~16:15

但馬沖における桁網調査、マガキの選抜育種、ワカメの種苗づくり等について、最新の調査研究成果が報告されます。

プログラムなど詳細は<http://www.hyogo-suigi.jp>のイベント情報、または当センター普及担当（078-941-8602）までお問い合わせください。

安心の生活総合共済

平成29年7月制度改正

浜に笑顔の見張り番

JF共済

掛金負担の少ない50型登場!

低廉な掛金で大きな補償をお望みの方にぴったりの共済契約

例えば

共済金額1,000万円
共済期間10年
住宅・木造の場合(年払い)

共済掛金の負担軽減に対応 ▶▶

- 掛金をおさえて大型補償に加入したい!
- カサイ(火災共済)からくらしに見直したい!
- 補償期間は5年か10年がいい!

	50型	20型	10型
共済掛金	57,900円	87,000円	136,500円
満期共済金	20万円	50万円	100万円

建物の引受限度額を最高1億円まで引き上げ!

これまで最高引受限度額は4,000万円でしたが、この限度額を1億円まで引き上げました。

例えば、高額化する物件に対応 ▶▶

- 設備費などで高額化する物件の見直しに!
- 限度額いっぱい加入している補償の見直しに!

大幅UP! 最高1億円

4,000万円

キャッシュレスで最新補償への切替が可能!

既加入者へお知らせ!

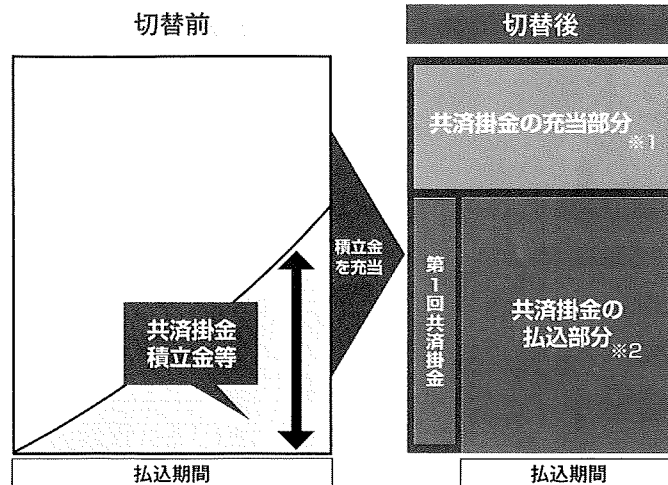
これまでの共済掛金積立金等を充当することで、最新補償への見直しがスムーズに行えます。

最新補償への見直しに対応 ▶▶

- 切替前の共済掛金積立金等を切替後契約の払込共済掛金に充当します。なお初回掛金の払込みは必要ありません。
- 共済掛金積立金等を活用するため、切替後契約の共済掛金負担を軽減できます!

※1 共済掛金の充当部分とは、共済掛金既払契約をいいます。 ※2 共済掛金の払込部分とは、共済掛金払込契約をいいます。

■ 切替イメージ



新しいくらしのおすすめ!

身近に起こる損害から大きな災害まで

新くらし登場!

補償の拡充3大ポイント!

ポイント1 風、ひょう、雪災による支払要件の拡充



これからは!

これまでは…… 20万円以上の損害でお支払い

3万円以上の損害でお支払い

3万円～20万円

例えば

- 雪災による雨樋の破損
- 強風による外壁等の破損
- 強風によるアンテナの倒壊
- 強風によるベランダ屋根の破損

※上記の損害の額及び損害内容は一般的な例であり、実際の事故においては3万円～20万円の範囲外となる場合があります。

ポイント2 水害による支払共済金を拡充



全損時の縮小割合を撤廃し、損害の額に応じたお支払い!

安心の全額補償へ

これまでは……

- ①損害割合30%以上の場合
損害の額×(共済金額/共済価額)×70%
- ②損害割合が15%以上30%未満で床上浸水の場合
共済金額×10%(200万円限度)
- ③上記以外で床上浸水の場合
共済金額×5%(100万円限度)

これからは!

損害割合30%以上
または
床上浸水の場合
損害の額の全額を
お支払いします

- ※ 臨時費用・残存物取片付け費用共済金は支払対象外となります。
- ※ 付保割合が①住宅用建物で60%、②一般物件で80%以上の場合
- ※ 加入共済金額を上限として損害の額をお支払いします。

ポイント3 地震による損害の支払共済金の拡充



これからは!

全損時の共済金支払割合を共済金額の30%に引き上げ! 半損を大半損と小半損に分割!

全損時は30%、半損は新たに2項目に!

これまでは… 全損で共済金額の25%

全損時の支払いを
30%に引き上げ!

これまでは… 半損で共済金額の10%

大半損で
共済金額の
20%をお支払い

小半損で
共済金額の
10%をお支払い

- ※ 一部損については今までどおり3%をお支払いします。
- ※ 臨時費用・残存物取片付け費用共済金は支払対象外となります。

※ご契約の際は、共済金をお支払いできない場合など、ご契約にあたっての重要な事柄が記

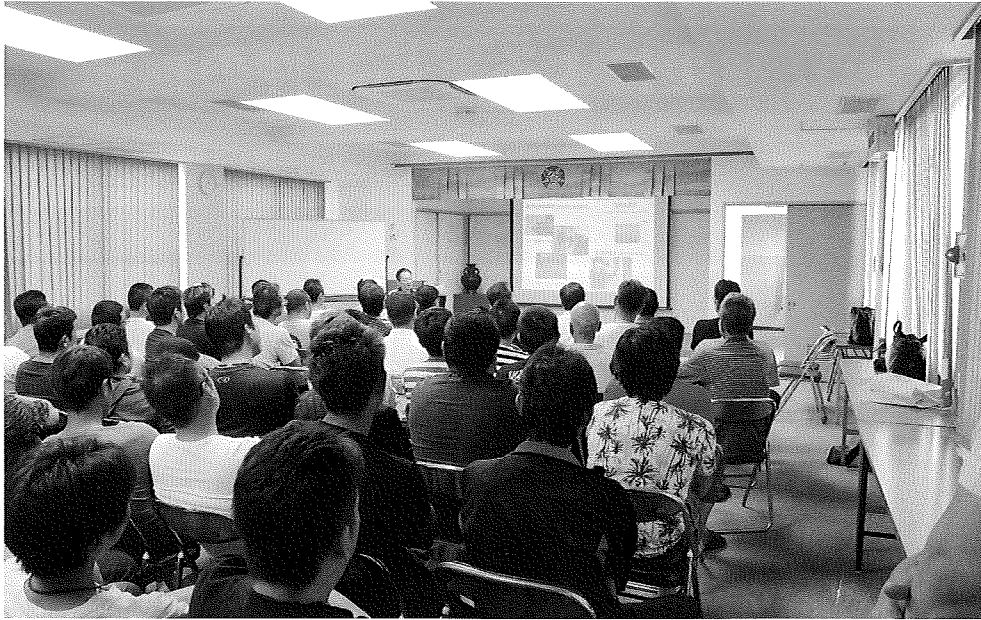
JF淡路島岩屋 安全講習会開会

JF淡路島岩屋は組合員の安全操業の意識向上を目的に6月28日(水)に海上保安庁大阪湾交通センター連用管制課による安全講習会を実施しました。

務化について、拡大された範囲や点数制度の説明も受け、安全操業意識を高めました。

開会にあたり東根寿組合長は「海峡に面した漁協なので事故のないよう安全操業を心掛けよう」と挨拶され、集まった約70名は、明石海峡が全国一の通航状況であることや明石海峡での外国コンテナ船とシラス船曳網漁船とが異常接近したヒヤリハット事例紹介及び南海トラフ地震の津波シミュレーション画像等の説明を受けました。

また、平成30年2月に適用されるライフジャケット着用義務



海上花火大会での海難にご注意下さい!

神戸海上保安部
からのお知らせ

◎花火大会の航行環境

- ◆ 花火打上げ場所周囲に多数の観覧船!
- ◆ 一斉に四方八方に帰港するため進路が交差!
- ◆ 夜間航行に不慣れ、地理に不案内な操縦者も!



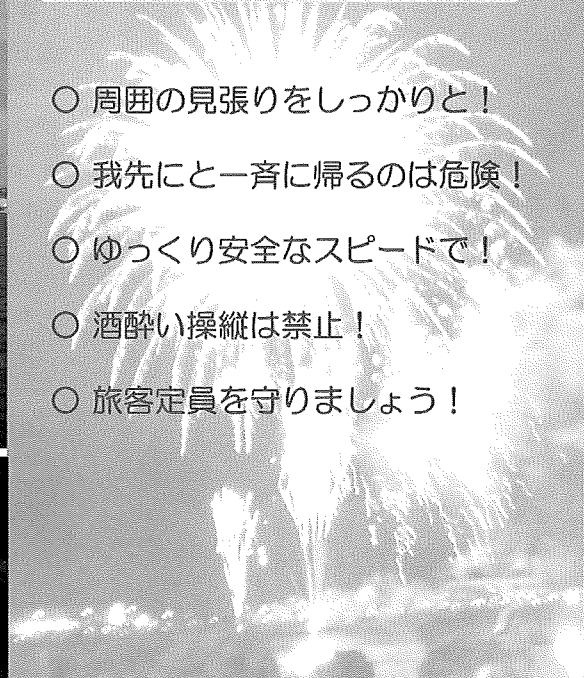
【過去の海難】

平成28年の「みなとこうべ海上花火大会」では12名乗りのプレジャーボートが防波堤に衝突沈没し、10名が負傷しました。



◎安全な運航に心掛けましょう!

- 周囲の見張りをしっかりと!
- 我先にと一斉に帰るのは危険!
- ゆっくり安全なスピードで!
- 酒酔い操縦は禁止!
- 旅客定員を守りましょう!



◎ライフジャケット常時着用

◎連絡手段の確保

◎118番通報



神戸海上保安部航行安全課

—平成29年7月作成—

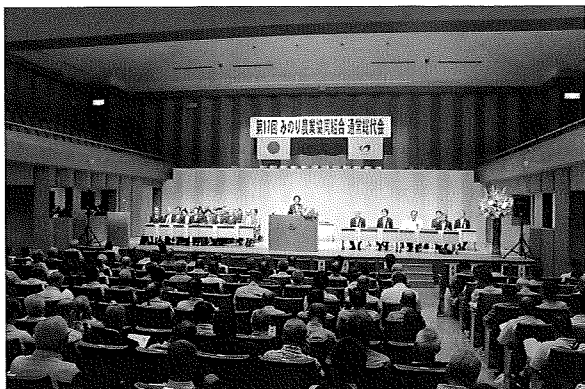
組合員とともに、さらなる成果を —JAが総会・総代会で 「自己改革プログラム」を共有—

県内のJAは、6月下旬、総会・総代会（注）を開催しました。協同組合であるJA（農業協同組合）は、総会・総代会が最高意思決定機関です。組合員は一人一票の議決権、選挙権をもち、前年度の事業報告と剰余金処分（決算）、当年度の事業計画（予算）をはじめ、JA運営に関する重要事項を審議、決定するため、毎年度、総会・総代会を開催しています。また、役員の改選期を迎えたJAでは理事、監事の選任を行います。

今、JAグループでは、JA全国大会・兵庫県JA大会決議に基づき、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とした「自己改革」に取り組んでいます。平成28年度から取り組んだ内容を組合員、役職員がしっかり共有し、今後より一層、成果をあげていくため、JAの総会・総代会に「自己改革プログラム」が報告されました。

「自己改革プログラム」には、基本目標の達成に向けたJAの取組方針をはじめ、とくに農業者の所得増大と農業生産の拡大を実現するための具体的な施策とその実践状況を記載しています。農業は、地域によって多様な取り組みが行われているため、自己改革プログラムにも、JAの創意工夫が表れています。29年度も、組合員の意見、要望を反映して、必要な見直しを行い、さらなる成果があがるように取り組むことにしています。

（注）500人以上の正組合員を有するJAは、正組合員の中から選ばれた総代による総代会を設置することができます。



自己改革プログラムを共有したJAの総代会(写真提供=JAみのり)

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

「あかし市民広場」で事業を紹介 「共済・保険の相談会」を実施

神戸市民生活協同組合は、5月19日（金）、明石駅前にある商業施設「パピオスあかし」2階の「あかし市民広場」にて、「共済・保険の相談会」を実施しました。

「パピオスあかし」は、明石駅南側に位置し、県内有数の商店街「魚の棚商店街」とも陸橋で直結し近接しています。各種専門店のほか、市役所の窓口や図書館、こども健康センター等があり、平日・休日問わず多くの方で賑わっています。2階部分は「市民広場」として開放され、市民の方の憩いの場やイベントスペースとして利用されています。

相談会当日はパンフレット配布やアンケート、相談受付による普及推進活動をおこないました。交通事故によるケガの保障や、自転車事故による相手方への賠償補償のほか、病気での入院保障などについて幅広くご案内しました。また、ご相談をいただいた方には、交通事故防止のための反射ステッカーなどプレゼントもお渡ししました。

今年度より、日頃各地域にて普及活動をおこなっているライフアドバイザーもスタッフに加え、より充実した体制での相談会を実施しております。明石市において、当組合はなじみの薄い面もありますが、このような相談会を定期的に開催することによって、地域のみなさまにより親しみを感じていただけるよう、広報・PR活動を続けていきたいと思っております。



<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子

百種菜園(終)

◆老後の快としていた菜園作りに終焉の時がきた。体力の限界を感じ無理をしない事とした結果の決断で、菜園作りを薦めて呉れた叔父に辞めると宣言した。還暦の翌年から始めて九十四年になる。百種類の野菜を作り続けて来たが、ついに終了の時が来た。元の休耕田の姿に戻すため、タネ播き用の苗床を平らに直し、畝はすべて平地に戻す。「飛ぶ鳥、跡を濁さず」という。借地の条件だった畦の草刈りに八日ほどの日数を要したが、本日全てを終えた。広い場所だから、初期に刈った畦には、また草が萌えている。雑草は実に生育が早い。この精力的な勢いを生かす手本とすべきだが、悲しい事に人間は老いるのである。

◆思い出は実に沢山ある。借りた休耕田は3ヶ所、ともに隣接した田圃だが併せて一町余りあった。1・2・3号園と名付け、1号園にナス、キュウリ、トマト、カボチャ、ピーマンなど「葉菜と果菜」を作った。2号園はイチゴとアスパラガス、中国野菜類を植えた。3号園の隅に山椒と柚子の樹を植え、あと広い面を生かし夏季はスイカとマクワウリを作った。それをマルチとするため、冬から初夏迄は麦畑とし麦ワラを拵えた。一握りの種籾を手に入れ増やし、翌年は全面を麦畑とした。毎年作った。近くの牧場から牛糞の無料提供を受け、鶏糞も2トン車で運んで貰い、寝かせて堆肥になった。大助りの援助であった。

◆最後の年、2号園全てをイチゴ畑とした。アキヒメを4畝、女峰1畝、宝交早生1畝と銘柄不明の地場産を1畝、全部で六二十株の大所帯になった。施肥・マルチ張り・除草と世話は焼けたが育て甲斐があった。孫の喜ぶ顔と収穫時の楽しさを思うと作業は大いに弾んだ。春、畝に赤いイチゴが鈴成りになって、明日をイチゴ狩りと決めた、その前日に全てが消えて無くなった。当初はカラスかなと思っただが、不格好な大きなイチゴが畝の谷に捨ててあり、これは人間の仕業と判断できた。畑荒らしと判って非常に情なくなつた。盗賊の残して行ったイチゴはホンひと掴み、最後の楽しみが無残な結果になり非常に無念だった。

◆3号園は周囲を竹の支柱で囲み、イノシシ除けの網が周りを取り巻いている。スイカとマクワウリとサツマイモを守っており、天部へ張った釣り糸がカラスを防ぐ。こうして百種類をこなし、老後の夢の期を過ぎた。獣や鳥害は防げるが、人による窃盗は防ぎ術が無い。悔しい瘤となり、残念の一言に尽きる。人間の体力には何時か限界が訪れ、引き潮時を迎える。野菜も野辺の草も、生じては繁り枯れてゆく。人の生涯も同様だろう。「百種菜園」顛末記とする。

大輪田塾だより

6月は2回開講 3講座

6月の大輪田塾は6日(火)と20日(火)の2回開講されました。

6日に開催された「水協法概要」では、県水産課漁政班 倉由樹氏から、協同組合の歴史や特徴、同法の条文等について詳しく講義が行われました。

20日は2講座開催され、「瀬戸内海の海水温変化と漁業」では、瀬戸内海区水産研究所 生産環境部 干潟生産グループ長 浜口昌巳氏から瀬戸内海の海水温変化等による貝類の生産量の変化や高水温に対応した力キ養殖方法、使用する種苗について再検討が必要など話を聴きました。

また、「漁業関係者と試験研究機関が一体となった漁業管理の取り組み」では、鹿児島大学水産学部 水産経済学分野 准教授 鳥居 亨司氏から、伊勢湾イカナゴの資源状況に応じた順応的な漁業管理の取り組みや銚子市キンメダイの漁法の制限などの漁業管理と漁場の輪番制や商品価値向上の取り組みについての話を聴き、兵庫県のイカナゴ資源との関連が深いこともあり塾生は最後まで熱心に聞き入っていました。



鳥居氏の講義の様子



水協法の講義の様子